

令和4年度 事業報告



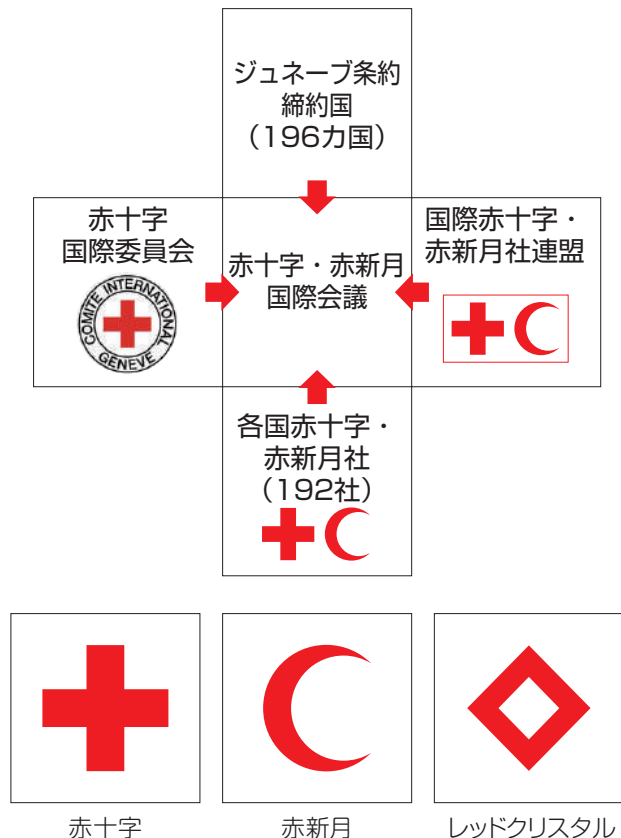
赤十字のはじまり

1859年6月、スイス人アンリー・デュナンは、イタリア統一戦争の激戦の地ソルフェリーノにほど近いカスティリオーネで、戦野に放置されていた傷病兵の悲惨なありさまを目のあたりにしました。そこで、デュナンは、「傷ついた兵士は、もはや兵士ではない、人間である。人間同士として尊い生命を救わなければならない。」との思いを抱き、住民に協力を呼びかけ、敵味方の区別なく救護につとめました。この時の思い出をつづったデュナンの一冊の本「ソルフェリーノの思い出」がきっかけとなって、1863年2月、ジュネーブに赤十字国際委員会が、また1919年5月には平時活動を担当する国際赤十字・赤新月社連盟が創設されました。

赤十字の標章

赤十字の標章（マーク）は、1863年の国際会議において、赤十字の創始者デュナンの祖国スイスに敬意を表し、スイス国旗の配色を反転させ、「白地に赤十字」と決められています。現在ではイスラム教国の多くは、「白地に赤い三日月（赤新月）」のマークを使っていますが、これも赤十字と全く同じ組織であることを示すマークとして認められています。この標章は、保護の標章として戦時において、軍の衛生部隊に所属する人、建築物、施設、車両及び資材等に付し、これらを攻撃の対象としてはならないと決められています。

また、表示の標章として、赤十字社の建築物、車両、出版物等に付し、赤十字の目的を達成するために使用されています。これらの標章の使用は、国際法「ジュネーブ条約」さらに国内法（日本の場合は「赤十字の標章及び名称等の使用の制限に関する法律」昭和22年法律第159号）で厳しく制限されています。



国際赤十字・赤新月運動の基本原則

(第20回赤十字国際会議 (1965年、ウィーン) 決議第8
改正:第25回赤十字国際会議 (1986年、ジュネーブ) 決議第31)

第20回赤十字国際会議は、赤十字の活動の基礎である次の基本原則を宣言する。

人道

国際赤十字・赤新月運動（以下、赤十字・赤新月）は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的および国内的に努力する。その目的は生命と健康を守り、人間の尊重を確保することにある。赤十字・赤新月は、すべての国民間の相互理解、友情、協力および堅固な平和を助長する。

公平

赤十字・赤新月は、国籍、人種、宗教、社会的地位または政治上の意見によるいかなる差別をもしない。赤十字・赤新月はただ苦痛の度合いにしたがって個人を救うことに努め、その場合もっとも急を要する困苦をまっさきに取り扱う。

中立

すべての人からいつも信頼を受けるために、赤十字・赤新月は、戦闘行為の時のいずれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも政治的、人種的、宗教的または思想的性格の紛争には参加しない。

独立

赤十字・赤新月は独立である。各国の赤十字社、赤新月社は、その国の政府の人道的事業の補助者であり、その国の法律に従うが、常に赤十字・赤新月の諸原則にしたがって行動できるよう、その自主性を保たなければならない。

奉仕

赤十字・赤新月は、利益を求めない奉仕的救護組織である。

単一

いかなる国にもただ一つの赤十字社あるいは赤新月社しかありえない。赤十字社、赤新月社は、すべての人に門戸を開き、その国の全領土にわたって人道的事業を行なわなければならない。

世界性

赤十字・赤新月は世界的機構であり、その中においてすべての赤十字社、赤新月社は同等の権利を持ち、相互援助の義務を持つ。

CONTENTS



1 全国赤十字大会…………… 1

2 赤十字会員と活動資金の状況…………… 1

3 災害救護…………… 2

4 国際活動…………… 7

5 救急法等の講習…………… 8

6 赤十字奉仕団……………13

7 青少年赤十字……………17

8 医療事業……………21

9 血液事業……………23

10 赤十字思想の普及……………24

11 香川県赤十字有功会……………25

12 評議員会……………25

13 決算概要……………26





全国赤十字大会

令和4年5月19日(木)、東京都渋谷区の明治神宮会館に名誉総裁皇后陛下並びに名誉副総裁各妃殿下ご臨席の下、全国赤十字大会が開催されました。なお、新型コロナウイルス感染症のリスクを抑制することを優先するため、開催規模が大幅に縮小されました。

香川県からは、奉仕団委員長等6名の代表者が参会しました。

◎大会次第

●プロローグ

活動記録「赤十字この一年」上映

●式典

- ・有功章ご授与
- ・社長表彰
- ・厚生労働大臣祝辞
- ・実践活動の報告

「未知のウイルス 新型コロナウイルスの赤十字病院の対応
(泉 並木/武蔵野赤十字病院 院長)
「青少年赤十字から学んだ「奉仕」の精神」
(加藤 緩屈/埼玉県青少年赤十字卒業奉仕団 副団長)



赤十字会員と活動資金の状況

「会員」とは赤十字の活動や理念にご賛同いただき、赤十字の活動資金を納入される方のことです。

「日本赤十字社は、会員をもって組織する」のとおり、赤十字の活動は多くの会員によって支えられています。

令和4年度においても、「人間を救うのは、人間だ。」を赤十字運動標語として掲げ、5月の「赤十字会員増強運動月間」を中心に地区・分区及び赤十字奉仕団等との円滑な協力関係のもと、県内一円で会員増強運動を展開しました。

◎会員の状況

年 度	会 員 数		
	個人(人)	法人(社)	合計会員数
平成30年度	59,930	2,899	62,829
令和元年度	57,149	3,519	60,668
令和2年度	53,396	3,829	57,225
令和3年度	51,151	3,691	54,842
令和4年度	51,344	3,316	54,660

◎活動資金の実績状況

年 度	実 績 額(円)			目 標 額(円)
	個 人	法 人	合計額	
平成30年度	163,801,465	22,141,835	185,943,300	146,000,000
令和元年度	131,040,637	34,639,871	165,680,508	146,000,000
令和2年度	126,646,963	41,930,067	168,577,030	146,000,000
令和3年度	152,582,737	42,600,311	195,183,048	146,000,000
令和4年度	134,580,946	40,051,814	174,632,760	146,000,000



会費募集の風景(丸亀市)



活動資金の贈呈式



災害救護

災害にあった人々の救護は、日本赤十字社本来の使命に基づいた最も重要な事業の一つです。

昭和22年制定の災害救助法により、日本赤十字社は災害に際して救助の協力を義務づけられ、さらに昭和36年制定の災害対策基本法では日本赤十字社を指定公共機関として指定し、災害救護に対する準備体制を確保しておくよう定められています。

当支部では、これらの法律に基づく規則や計画に従い、常備救護班を編成し、有事即応の体制を整えるほか、救護員訓練などにより、医療救護活動の実施に万全を期するとともに、赤十字奉仕団、防災ボランティアの協力のもと、幅広い救護活動の展開が可能となるように努めました。

救護班

常備救護班として8個班を、県内赤十字施設（高松赤十字病院・香川県赤十字血液センター）との連携のもとに編成しており、災害の規模に応じて必要な救護班を派遣できるようにしています。この救護班の編成基準と要員確保状況は、次のとおりです。

●救護班の編成（1班7人編成 8個班）

（単位/人）

区分	職種	医師(班長)	看護師長	看護師	薬剤師	主事	合計
1個班の編成基準		1	1	2	1	2	7
常備要員数		8	8	16	8	16	56

※必要に応じて、助産師・特殊要員を加えます。また、血液供給要員3人、災害対策本部支援員2人を任命しています。

●dERUチームの編成（1チーム14人編成 4チーム）

（単位/人）

区分	職種	医師	看護師長	看護師	薬剤師	助産師	主事	合計
1チームの編成基準		2	2	4	1	1	4	14
常備要員数		8	8	16	4	4	16	56

※医師のうち1名がチームリーダー、主事のうち1名がサブリーダーとなります。



●災害救護活動

- ①台風4号接近に伴う対応
令和4年7月4日（月）、台風接近に伴い、市町関係機関に情報提供を行いました。
- ②台風14号接近に伴う対応
令和4年9月16日（金）、台風接近に伴い、市町関係機関に情報提供を行いました。
令和4年9月22日（木）、住家被害を受け、救援物資を配布した東かがわ市地区へ香川県支部の毛布20セットを配分しました。



●災害救護装備の整備

全社的な救護体制及び医療救護班等の機動力を一層強化するため、災害時に有用な電源確保として、次のとおり本社の補助を得て蓄電池を整備しました。

- ①移動型リチウムイオン蓄電池 タメルラボ 2000N 3台
- ②折り畳みソーラーパネル 3台
更新価格 494,076円（本社財源）



災害義援金の取扱状況

国内の災害に対する義援金が当支部に次のとおり寄せられました。

平成30年7月豪雨災害義援金	(1件)	2,902円
令和2年7月豪雨災害義援金	(2件)	293,589円
令和4年3月福島県沖地震災害義援金	(15件)	262,137円
令和4年7月大雨災害義援金	(5件)	192,994円
令和4年8月3日からの大雨災害義援金	(11件)	230,994円
令和4年台風第15号災害義援金	(4件)	102,237円
(合計)	(38件)	1,084,853円

災害等による被災者の援護

公益財団法人JKA、全日本遊技事業協同組合連合会の補助金により整備した毛布、緊急セット及び安眠セットを支部倉庫に備蓄するとともに、地域の実情を踏まえて各地区・分区にも分置しています。その他バスタオル、ブルーシートなど、救援物資の効果的な備蓄に努めました。また、応急援護として火災等の被災者の方々に対して、見舞金や弔慰金を贈っています。

◎災害救援物資の備蓄状況 (令和5年3月31日現在)

品名	地区別	令和3年度繰越数	本年度増減数				令和4年度末備蓄数	備蓄場所	
			本社から受入	他県へ管理換	県内へ配分	転用		支部	地区等
毛布(枚)		4,121	0	0	95	0	4,026	3,440	586
緊急セット(個)		978	0	0	38	1	939	834	105
安眠セット(個)		834	0	0	0	0	834	756	78
バスタオル(枚)		822	0	0	0	0	822	650	172
ブルーシート(枚)		593	0	0	0	0	593	540	53
タオルケット(枚)		1,990	0	0	0	0	1,990	1,990	0



緊急セット 《1世帯(4人分)》

- ・タオル
- ・軍手
- ・歯ブラシ
- ・携帯ラジオ
- ・懐中電灯
- ・その他20点



安眠セット

- ・マット
- ・耳栓
- ・枕
- ・スリッパ
- ・アイマスク
- ・靴下

◎火災等による被災者や避難所への避難者に対し、次のとおり救援物資を贈りました。

品名	地区別	高松	丸亀	坂出	善通寺	観音寺	さぬき	東かがわ	三豊	小豆	東讃	中讃	計
毛布(枚)		34	11	4	0	7	8	23	3	3	0	2	95
緊急セット(個)		17	5	3	0	4	3	2	1	2	0	1	38
安眠セット(個)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

◎火災等による被災世帯や死亡者に対し、次のとおり見舞金等を贈りました。

(単位/千円)

品名	地区別	高松	丸亀	坂出	善通寺	観音寺	さぬき	東かがわ	三豊	小豆	東讃	中讃	計
災害見舞金		300	100	80	0	60	60	40	60	60	60	40	860
弔慰金		20	40	20	0	0	0	20	40	20	0	0	160
中国帰国者見舞金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		320	140	100	0	60	60	60	100	80	60	40	1,020



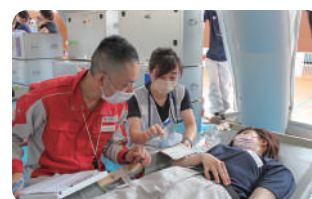
救護員の養成

行事名	月 日	参加者	人数	場 所	内 容
救護員任命式	4月 8日(金)	赤十字救護員	59	高松赤十字病院	
救護員研修会	4月 8日(金)	赤十字救護員、指導者	42	高松赤十字病院	国内型緊急対応ユニット(dERU)について
支部・施設合同救護員主事対象研修会	5月11日(水)	赤十字救護員、指導者 (主事・ロジスティックス)	19	香川県青年センター	ステップ3研修(救護資機材取扱、救護所設営) 救護資機材の操作訓練、救護所設営(dERU)、緊急車両操作(通信指令車・救急車内装備、ストレッチャー操作)・中型車両(トラック・dERU)操作
こころのケア研修	7月 6日(水)	赤十字救護員、指導者	37	高松赤十字病院	講義(日本赤十字社のこころのケア、災害時のストレスとストレス反応、被災者のケア、救護員のケア)、グループワーク、ロールプレイ
支部・施設合同赤十字救護員基礎研修会	9月12日(月)	赤十字救護員候補者、研修医	50	高松赤十字病院	(座学) 赤十字の災害救護内容・法的根拠、災害医療概論 救護業務で活用するシステムや診療録、救護所設営机上演習 基礎行動
	9月13日(火)	赤十字救護員候補者、研修医	52		
	10月 4日(火)	赤十字救護員候補者、研修医	51	香川県青年センター	救護資機材取扱(担架・簡易ベッド・発電機・医療資機材) 救護所設営(エア Tent・パイプ Tent) トリアージ 救護シミュレーション(救護所診療、避難所巡回診療、避難所アセスメント)
	10月 5日(水)	赤十字救護員候補者、研修医	52		



●国内型緊急対応ユニット dERU (大規模災害等が発生した時に迅速に被災地域に搬入できる自己完結型の緊急仮設診療所) 操作研修の実施

行事名	月 日	参加者	人数	場 所	内 容
救護員実践研修会	6月17日(金)	赤十字救護員	57	香川県青年センター	dERUの運用、学科研修・実技研修の留意事項、グループワーク、dERUの展開実習等、救護資機材操作、現場救護所シミュレーション



日本赤十字社中国・四国各県支部合同研修会への参加

行事名	月 日	参加者	人数	場 所	内 容
日赤災害医療コーディネーターチーム連絡会議	11月 5日(土) 11月 6日(日)	日赤災害医療コーディネーター 救護担当者	2	日本赤十字社 広島県支部	日本赤十字社東南海・南海地震対応計画及びマニュアル等の共有、災害時の情報共有ツールの共有、災害救護活動支援の申し合せの共有



他機関の防災訓練等への参加

行事名	月日	参加者	人数	場所	内容
香川県石油コンビナート総合防災訓練	10月18日(火)	赤十字救護員	8	四国電力(株)火力本部坂出發電所	救護所開設、トリアージ、応急医療、負傷者搬送
香川県総合防災訓練	10月23日(日)	赤十字防災ボランティア 救護員候補者(日赤看護師) 赤十字救護員	73	香川県消防学校	dERUの展開、救護所開設、トリアージ、応急医療、負傷者搬送、無線交信、医薬品搬送、新型コロナウイルス疑い患者の対応



赤十字防災ボランティアの養成

災害救護活動のノウハウを習得し、災害時等に日本赤十字社が行う活動（情報収集、炊き出し、救援物資の輸送・配布など）や個人や民間レベルでの助け合い活動を行う赤十字防災ボランティアを養成しました。

●香川県赤十字防災ボランティア活動状況

登録人員（団体）211人（個人登録） 3団体（団体登録）

行事名	月日	参加者	人数	場所	内容
防災ボランティア基礎研修会	6月12日(日)	赤十字防災ボランティア等	54	日本赤十字社香川県支部ボランティア室 他	赤十字防災ボランティア活動のガイドラインの説明 平成30年7月豪雨災害活動報告、災害救護装備・支部倉庫見学、非常食の炊き出し、災害時に役立つ応急手当
こどもとおとなの防災セミナー	令和5年1月21日(土)	赤十字防災ボランティア等	43	香川県社会福祉総合センター	非常食の炊き出し、災害時の心得を学ぶ（ドローイング・チャレンジ）、災害避難時のシミュレーション、災害時に役立つ応急手当、ロープワーク



臨時救護

津田の松原海水浴場等4か所に救護員等延べ8人を派遣し、負傷者9人の手当てをしました。

- ・津田の松原 海水浴場
- ・フラ・オ・レア10周年発表会





「赤十字地域防災セミナー」の実施

大規模災害から人々のいのちを守り、その被害を最小限に抑えるためには、日頃から防災・減災に取り組むとともに、災害発生時には、地域の人たち自らが迅速かつ的確に対応し、速やかに復旧・復興につなげることができる強靱な地域コミュニティが重要です。

このため、地域コミュニティにおける防災教育の一層の普及推進を図る場として、赤十字地域防災セミナーを開催しました。

体験内容

- 災害ボランティアセンター運営訓練
- クロスロードゲーム
- 災害に役立つ応急手当
- その他（気象台等の基調講演）
- ドローイングチャレンジ
- 災害エスノグラフィー
- 避難所運営ゲーム



月 日	地域	対 象 者	人数
7月29日(金)	高松市東植田	奉仕団員、地区社協、小学生	30
10月 9日(日)	高松市弦打	奉仕団員、自治会員	25
10月24日(月)	高松市南ブロック	奉仕団員	25
10月28日(金)	琴平町	自治会、民生委員、社協職員	20
11月18日(金)	丸亀市飯山北	奉仕団員、自治会員	25
11月21日(月)	宇多津町	宇多津町・綾川町奉仕団員	50
12月 4日(日)	まんのう町琴南	奉仕団員、自治会員	36
12月 4日(日)	まんのう町神野	奉仕団員、自治会員	30
1月22日(日)	観音寺市豊浜	奉仕団員、婦人会、豊浜社協	40
1月29日(日)	丸亀市飯山南	婦人会、婦人防火クラブ、コミュニティ部会員	35
2月 5日(日)	まんのう町吉野	奉仕団員、自治会員	72
3月 5日(日)	観音寺市大野原	奉仕団員、自治会長、大野原社協	20
3月 8日(水)	さぬき市	奉仕団員、婦人会員	42
合計13回			450

「防災とボランティアのつどい」～親子で学ぼう防災、広げよう減災～

「さぬきこどもの国」にて、「防災とボランティアのつどい～親子で学ぼう防災、広げよう減災～」を開催しました。

このイベントは、阪神・淡路大震災の翌年から、日本赤十字社香川県支部が香川県災害ボランティア連絡協議会の構成団体と共催で、災害への備えや災害の爪痕の記憶を忘れないための追悼のイベントとして開催し、東日本大震災の5年後からは、開催時期を3月に移して毎年続けています。

必ずやってくる大災害に備え、特に親子や家族にフォーカスを絞り「防災・減災」の考え方を普及させるため、救護活動や防災活動の写真展示のほか、親子で学ぶ体験ブースコーナーでは、防災ボードゲームや津波のしくみ、AED体験など、親子で楽しく防災の意識を高めてもらえるように工夫を凝らしました。

- 日 時／令和5年3月11日(土) 10:00～15:00
- 場 所／さぬきこどもの国(高松市香南町)
- 参加者／一般来場者 1,201人
- 参加者／活動パネル展示…防災関連団体の活動をわかりやすく展示
 学べる体験ブース…参加団体が防災をテーマにした楽しい体験
 救護車両・起震車展示…赤十字や関係団体の働く車を展示、乗車体験





国際活動

日本赤十字社は、世界192の国と地域の赤十字・赤新月社と連携して、世界各地において民族や宗教の対立等により発生する人道的な危機や、地震・洪水等の自然災害による難民、国内避難民等に対する「国際救援」を行います。

また、災害や保健衛生上の脅威にさらされる開発途上国の赤十字社が実施するプログラムへの支援を行う「開発協力」を中心に、要員の派遣や資金、物資の援助を進めています。

令和4年2月24日に勃発したウクライナ危機に対しては、中立を貫き、「ウクライナ人道危機救援金」の募集を行うとともに、「戦争にもルールがある」という国際人道法の認識を社会に広めていく活動を行っています。

国際救援

●国際救援金の取扱状況

「NHK海外たすけあい」募金	(726件)	4,998,258円
海外救援金（地域指定なし）	(2件)	14,802円
アフガニスタン人道危機救援金	(2件)	21,250円
ウクライナ人道危機救援金	(331件)	23,809,336円
2022年アフガニスタン地震救援金	(3件)	107,990円
2022年パキスタン洪水救援金	(4件)	130,195円
2023年トルコ・シリア地震救援金	(165件)	4,948,219円
（合計）	(1,233件)	34,030,050円



開発協力

●「NHK海外たすけあい」キャンペーンの実施

海外で発生した災害や紛争による被災者等を支援するとともに開発途上国の開発協力を行うために、日本赤十字社とNHKが共催し、1983年に第1回のキャンペーンを実施して以来、毎年12月にNHKの放送を通じて広く募金を呼びかけています。

香川県支部では、12月10日（土）に高松駅前、高松丸亀町壱番街前ドーム広場付近の高松市内2カ所において青少年赤十字メンバー、高松市赤十字奉仕団員等で街頭募金を行いました。

12月1日（木）にはNHK高松放送局にてオープニングセレモニーを行いました。

- オープニングセレモニー
 - 【青少年赤十字加盟校】
 - 高松市立川岡幼稚園
 - 【赤十字奉仕団】
 - 高松市赤十字奉仕団
 - 香川県青年赤十字奉仕団
 - 香川大学学生赤十字奉仕団
 - 香川短期大学学生赤十字奉仕団
 - 高松大学・高松短期大学学生赤十字奉仕団
 - 四国医療福祉専門学校学生赤十字奉仕団
 - 【その他】
 - 久光製薬株式会社高松営業所
- 街頭募金参加団体
 - 【青少年赤十字加盟校】
 - 高松市立下笠居中学校
 - 高松市立香東中学校
 - 尽誠学園高等学校



●アジア・大洋州給水・衛生災害対応キット整備事業

国際赤十字・赤新月社連盟は、災害発生時に迅速に給水・衛生活動が展開出来るよう、「給水・衛生災害対応キット」を開発し、頻繁に災害に見舞われる国や地域に予めこれらの資機材を備蓄し、現地赤十字社のスタッフやボランティアの研修を行っております。

香川県支部は中国・四国各県の支部と共同で資金提供し、この事業に参加しています。



WASH研修を受ける
ラオス赤十字社職員
©日本赤十字社



WASH研修を受ける
バングラデシュ赤新月社職員
©日本赤十字社



災害対応を行う
ラオス赤十字ボランティア
©日本赤十字社

アジア・大洋州給水・衛生災害対応キット整備事業資金の拠出
（中国・四国各県支部共同事業 拠出総額）

712,607円
7,000,000円

WASH研修とは、Water（水）、Sanitation（衛生設備）、Hygiene（衛生促進）のことで、具体的には給水・排水・トイレ・廃棄物処理を供給し、衛生状態を改善することです。



救急法等の講習

赤十字は、人間の苦痛を予防軽減し、生命と健康を守り、人間の尊厳を確保するという赤十字の理念に基づいて、広く一般の方々を対象とした救急法等の講習会を実施しています。

当支部では令和4年度に、次のとおり各地域で講習会を実施しました。

救急法

思わぬ事故や災害にあった人、急病になった人を正しく手当てし、医師や救急隊員に引き継ぐまでの応急手当として、「心肺蘇生・AED」「止血」「骨折の手当」「傷病者の搬送」などを内容とする講習会を次のとおり実施しました。

●救急員養成講習

対象・主催等	受講者数	養成者数
穴吹医療大学校（2回）看護学科4年生、3年生、2年生、歯科衛生学科3年生	107	105
穴吹パティシエ福祉カレッジ介護福祉学科1年生	42	21
香川看護専門学校 第1・2看護学科2年生	81	81
香川県警察学校 初任科第92期生	55	55
香川県立高松南高等学校（2回）看護科2年生、福祉科1・2年生	90	81
香川県立香川中央高等学校 スポーツ科学コース2・3年生	65	65
四国こどもとおとなの医療センター附属善通寺看護学校	80	80
尽誠学園高等学校	36	36
高松赤十字病院	21	20
日本赤十字社香川県支部（4回）	108	101
計15回	685	645



●基礎講習

対象・主催等	受講者数	修了者数
穴吹リハビリテーションカレッジ	37	37
英明高等学校	25	25
大手前高松高校 硬式野球部	29	29
香川県サッカー協会	32	32
香川県児童館連絡協議会	16	16
四国医療専門学校（3回）	72	72
四国学院大学サッカー部	29	29
高松赤十字病院	21	21
支部教室（6回）	224	224
その他（11回、救急法救急員養成講習会等含む）	558	554
計27回	1,043	1,039



●短期講習

対象・主催等	受講者数	対象・主催等	受講者数	対象・主催等	受講者数
浅野コミュニティセンター	17	株式会社 wave energy	20	高松市立国分寺中学校 (3)	224
綾川町赤十字奉仕団	30	株式会社ハッピーライフ愛	24	高松市立国分寺北部小学校	40
綾川町赤十字奉仕団滝宮分団	10	上高野地区社会福祉協議会	28	高松市立紫雲中学校	45
綾川町立昭和小学校	17	川崎重工工業株式会社坂出工場	20	高松市立塩江中学校 (2)	27
綾川町立陶小学校	18	川西地区防災訓練	250	高松市立立笠居中学校	19
アルファステイツ桜町Ⅱ管理組合	20	観音寺市大野原公民館	25	高松市立新番丁小学校	35
一般財団法人淳風会集団健診部	25	観音寺市立柞田小学校	34	高松市立十河小学校	26
一般財団法人香川県交通安全協会 (2)	67	観音寺市立大野原小学校	30	高松市立高松第一小学校	60
うたづっこふくしセミナー	200	観音寺市立大野原中学校	30	高松市立高松第一中学校 (2)	112
宇多津町社会福祉協議会	10	観音寺市立観音寺中学校 (2)	105	高松市立檀紙小学校 (2)	215
宇多津町立宇多津中学校 (2)	148	観音寺市立高室小学校	40	高松市立林小学校	40
英明高等学校 (5)	590	観音寺市立中部中学校 (3)	168	高松市立東植田小学校	15
大手前高松高等学校	50	観音寺町女性防災活動隊 (2)	70	高松市立古高松小学校	30
大手前丸亀高等学校 (2)	97	木太コミュニティセンター	6	高松市立古高松中学校	35
親子 de 楽しむ救急法	55	公益財団法人香川県視覚障害者福祉協会 女性部	24	高松市立牟礼南小学校	15
香川県警察本部刑務部	31	高齢者複合施設すずかけの径	12	高松市立屋島小学校	20
香川県キャンプ協会	35	ことでんバス株式会社	15	高松市立栗林小学校	50
香川県教育委員会事務局保健体育課	13	琴平町立榎井小学校	17	高松赤十字病院 (2)	24
香川県教育委員会事務局高校教育課	10	琴平町立琴平中学校	50	中国四国管区警察局四国警察支局	20
香川県教育委員会事務局衛生委員会	15	こどもと大人の防災セミナー	45	特定非営利活動法人香川県レクリエーション協会	15
香川県教育センター	49	坂出グランドホテル	15	特定非営利活動法人どんぐりネットワーク	10
香川県剣道連盟	81	坂出市立金山小学校	13	特定非営利活動法人ヒューマンアクティビティ	13
かがわ健康福祉機構	14	坂出市立加茂小学校	31	特別養護老人ホーム さんさん荘	35
香川県柔道連盟 (2)	117	坂出市立東部小学校	24	土庄町大部地区協議会	30
香川県水泳協会	40	坂出市立西庄小学校	9	豊浜地区社会福祉協議会	40
香川県赤十字血液センター (2)	39	坂出市立林田小学校 (2)	60	直島町教育委員会事務局	35
香川長寿大学公共交通で里山を歩く会	25	桜町マンション防災会 (4)	40	直島町立直島小学校	16
香川県生コンクリート工業組合	25	さぬき市地区赤十字奉仕団長尾分団	150	直島町立直島中学校	72
香川県農協高松市西部地域女性部	65	さぬき市立志度中学校 (3)	148	西植田コミュニティ協議会	236
香川県B&G財団連絡協議会	25	さぬき市立さぬき南中学校 (2)	139	西日本放送株式会社	10
香川県藤井高等学校 (2)	200	三九会	20	日本赤十字社香川県支部 (8)	321
香川防災士会高松西支部	12	三有研器株式会社	6	日本赤十字社香川県支部観音寺市地区大野原分団	20
香川県立盲学校 (2)	56	JA 豊南地域女性部五郷支部	30	日本赤十字社香川県支部さぬき市地区 (7)	132
香川県立坂出商業高等学校 (3)	177	四国医療福祉専門学校	20	日本赤十字社香川県支部まんのう町分区神野分団	30
香川県立石田高等学校 (3)	106	四国電力送配電株式会社 (2)	89	日本赤十字社香川県支部まんのう町分区琴南分団	36
香川県立香川西部養護学校	70	四国百名山会 (2)	75	日本赤十字社香川県支部まんのう町分区高篠分団	52
香川県立香川中央高等学校	60	四変テック株式会社 (2)	72	日本赤十字社香川県支部まんのう町分区吉野分団	72
香川県立香川東部養護学校	40	障害者支援施設サン未来	20	日本健康運動指導士会香川県支部	30
香川県立笠田高等学校	145	翔鶴	11	日本赤十字社香川県支部琴平町分区	20
香川県立観音寺第一高等学校	26	青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター	30	日本赤十字社香川県支部まんのう町分区仲南分団	25
香川県立観音寺総合高等学校 (3)	245	世界救急法の日記念イベント	94	日本赤十字社香川県支部まんのう町分区長炭分団	27
香川県立観音寺第一高等学校 (2)	217	赤十字フェスタ	55	日本赤十字社香川県支部宇多津町分区	50
香川県立琴平高等学校 (2)	207	せとうち観光専門職短期大学	13	NOSAI 香川高松女性の会	28
香川県立坂出工業高等学校	30	普通寺市教育委員会生涯学習課	115	花園地区体育協会	20
香川県立坂出高等学校	41	普通寺ロータリークラブ	22	東植田コミュニティセンター	30
香川県立志度高等学校 (2)	90	高松市立香南中学校 (2)	80	東かがわ市立白鳥中学校	54
香川県立斯道学園	20	高松市教育委員会 (3)	157	東かがわ市立大川中学校 (2)	100
香川県立丸亀城西高等学校	30	高松市立塩江小学校	13	東かがわ市赤十字奉仕団小海分団	30
香川県立善通寺養護学校 (2)	80	高松市赤十字奉仕団多肥分団 (2)	43	仏生山国際交流会	200
香川県立善通寺第一高等学校 (4)	364	高松市赤十字奉仕団南ブロック	25	仏生山地区連合自治会防災部	20
香川県立高瀬高等学校	140	高松市檀紙地区婦人会	50	防災とボランティアのつどい	681
香川県立高松高等学校 (2)	95	高松市弦打地区	25	丸亀市地区飯山北分団	25
香川県立高松高等学校定時制	24	高松市立太田小学校	40	丸亀市飯山南地区コミュニティ部会	35
香川県立高松桜井高等学校 (3)	310	高松市立浅野小学校	20	丸亀市立郡家小学校	41
香川県立高松商業高等学校	50	高松市立一宮小学校	40	丸亀市立東中学校 (2)	216
香川県立高松東高等学校 (3)	191	高松市立一宮中学校	25	丸亀市立城北小学校	22
香川県立高松南高等学校	42	高松市立太田中学校 (2)	246	丸亀市立南中学校 (6)	192
香川県立高松養護学校	30	高松市立太田南小学校	55	丸亀東ロータリークラブ	30
香川県立多度津高等学校 (2)	174	高松市立大野小学校 (2)	60	まんのう町母子愛育連絡協議会	35
香川県立香川中部養護学校	50	高松市立香川第一中学校 (2)	173	三木町社会福祉協議会	50
香川県立津田高等学校 (2)	86	高松市立勝賀中学校 (4)	263	三木町立田中小学校 (2)	86
香川県立丸亀高等学校 (3)	355	高松市立亀阜小学校	30	三木町立氷上小学校 (2)	64
香川県立丸亀城西高等学校 (5)	200	高松市立川岡小学校	20	三谷地区コミュニティ協議会 防災部	15
香川県立丸亀養護学校 (2)	120	高松市立川添小学校	30	三豊市上高野文化センター	15
香川県立三木高等学校	50	高松市立木太小学校	30	三豊市上下水道組合	16
かがわ総合リハビリテーション福祉センター	11	高松市木太コミュニティセンター	20	三豊市立仁尾中学校 (2)	53
香川大学教育学部附属高松小学校	30	高松市立木太中学校 (3)	258	三豊市立三野津中学校 (2)	84
香川大学教育学部附属高松中学校	20	高松市立木太北部小学校	23	牟礼小学校校区子ども会育成連絡協議会	50
香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	120	高松市立木太南小学校	30	屋島レクザムフィールド	20
香川マスターズ陸上競技連盟	12	高松市立鬼無小学校	23	社自治会	15
香小研高支部養護部会3班	9	高松市立協和中学校 (3)	270	ランニングドラッカーズ	10
株式会社穴吹ハウジングサービス	10	高松市立香西小学校	40	計311回	15,302

水上安全法

水の事故から人命を守るため、「泳ぎの基本」「水の事故防止」「溺者の救助」「一次救命処置と応急手当」などを内容とする講習会を次のとおり実施しました。

●救助員養成講習

対象・主催等	受講者数	養成者数
香川県消防学校 消防学生 及び 支部主催教室 7月コース (プール)	47	46
支部主催教室 11月コース (プール)	9	9
支部主催教室 津田の松原 (海)	1	1
計3回	57	56



●短期講習

対象・主催等	受講者数	対象・主催等	受講者数
綾川町立滝宮小学校 (6)	364	善通寺市立中央小学校	22
綾川町立羽床小学校 (2)	60	善通寺市立東部小学校 (2)	77
一般社団法人 SKY あーと	54	善通寺市立与北小学校 (2)	36
香川県教育委員会事務局保健体育課	120	高松市立亀阜小学校 (2)	89
香川県立聾学校 (2)	63	高松市立東植田小学校	14
香川大学教育学部附属特別支援学校	30	高松市立三溪小学校 (2)	80
観音寺市立高室小学校	18	父母ヶ浜ポート事務局	8
公益社団法人高松市スポーツ協会 (7)	58	ファミリーマリンスクール	49
琴平町立榎井小学校 (3)	82	丸亀市立東中学校 (3)	214
坂出市立林田小学校 (3)	158		
日本赤十字社香川県支部 (2)	28	計44回	1,624





健康生活支援講習

健康増進・介護予防などへの社会の関心が高まる中、社会のニーズに柔軟に対応しつつ、自立に向けた高齢者介護の知識・技術などを広く普及しています。この講習では、高齢者の介護の方法のほか、高齢期を迎える前からの健康管理、地域での高齢者支援などを内容としています。

また、災害時高齢者生活支援講習においては、被災した高齢者の避難所生活に焦点をあてて、不自由な生活から高齢者を守るために、誰もが知っておいていただきたい知識や支援技術についてご紹介しています。

●支援員養成講習

対象・主催等	受講者数	養成者数
英明高等学校 福祉科 2・3年生	25	24
尽誠学園高等学校衛生 看護科2年生	35	35
支部教室 (2)	11	11
計 4 回	71	70



●短期講習

対象・主催等	受講者数
綾川町赤十字奉仕団滝宮分団	10
香川県社会福祉協議会	12
香川県赤十字安全奉仕団	38
香川県立三木高等学校	15
坂出市赤十字奉仕団 (2)	54
さぬき市赤十字奉仕団石田分団 (2)	50
さぬき市赤十字奉仕団造田分団	15
四筒地区福祉保健推進員会	8
善通寺市赤十字奉仕団中央分団 (2)	28
十河校区自主防災会	100
高松市教育委員会	17
高松市赤十字奉仕団	41
高松市赤十字奉仕団太田分団	30
高松市赤十字奉仕団多肥分団	11
高松市赤十字奉仕団築地分団	28
高松市赤十字奉仕団古高松分団 (2)	34

対象・主催等	受講者数
高松市赤十字奉仕団四番丁分団	60
高松市弦打地区	25
多度津町福祉保健推進連絡協議会	24
豊原地区福祉保健推進員会	25
直島町役場住民福祉課	8
二番丁地区保健委員会	17
日本赤十字社香川県支部 (3)	73
農業経営高等学校 (3)	35
NOSAI香川高松女性の会	28
東かがわ市赤十字奉仕団	32
赤十字奉仕団“ほっと”	18
まんのう町赤十字奉仕団四條分団	33
リラクゼーション研修会 (2)	53
若く行こう会 (4)	101
計 42 回	1,023





幼児安全法

子どもを社会の財産として大切に育てるために、「子どもに起こりやすい事故の予防と手当」「家庭内での看病の方法」を中心として次のとおり講習会を実施しました。

●支援員養成講習

対象・主催等	受講者数	養成者数
穴吹パティシエ福祉カレッジ 保育食育学科3年生、こども保育学科2年生	20	18
支部教室 (2)	28	25
計3回	48	43



●短期講習

対象・主催等	受講者数
穴吹パティシエ福祉カレッジ	20
宇多津町ファミリー・サポート・センター	10
NPO法人子育てネットひまわり	8
NPO法人さぬきぎざコムシアター コムコムひろば・あやうた	8
NPO法人わははネット (4)	95
NPO法人すくすく	41
NPO法人さぬきぎざコムシアター	8
NPO法人子育てネットひまわり	6
NPO法人すくすく三豊	30
香川県教育センター	60
香川県健康福祉部子ども政策推進局子ども家庭課 (3)	109
香川大学教育学部附属高松小学校	4
香川短期大学 (2)	100
株式会社マミーズファミリー (2)	36
観音寺ファミリー・サポート・センター (4)	26
くじらの杜保育園	12
琴平町母子愛育会 (3)	87
さぬき市ファミリー・サポート・センター (3)	25

対象・主催等	受講者数
社会福祉法人つくし福祉会 西春日保育所	9
社会福祉法人高室福祉会 高室保育園	30
たかまつファミリー・サポート・センター (8)	115
高松市立木太北部幼稚園	12
直島町役場住民福祉課 (4)	78
中野保育所	10
二番丁幼稚園	10
東かがわ市保健課健康づくりグループ (2)	4
東かがわ市ファミリー・サポート・センター (2)	28
ファミリー・サポート・センターうたづ	7
丸亀ファミリー・サポート・センター (4)	67
丸亀市東小川児童センター	9
丸亀市飯山地域子育て支援センター	18
三豊ファミリー・サポート・センター (2)	19
らく楽児童クラブ	20
わくわく保育所	10
わはは・ひろば (2)	10
計66回	1,141





赤十字奉仕団

赤十字奉仕団は、赤十字の使命とする人道的な諸活動を、様々な領域で実践しようとする方々により結成されたボランティア組織です。

この赤十字奉仕団は、市町の地域ごとに組織されている「地域奉仕団」、青年や学生で組織されている「青年奉仕団」、救急法等のボランティア指導員、アマチュア無線等特殊な技術をもった方々で組織されている「特殊奉仕団」によって構成されています。

これらの赤十字奉仕団は、災害時の救護活動、献血の推進活動、救急法等の講習普及活動、社会福祉活動など地域に根差した活動を県内各地で展開しています。

地域奉仕団

地域奉仕団は、赤十字の基盤となるボランティア組織として、赤十字事業の推進に欠くことのできない存在であり、各地域においてそれぞれの立場で奉仕活動を展開しています。

●組織及び団員数 17団（8市9町） 7,107人

区分	高松	丸亀	坂出	善通寺	観音寺	さぬき	東かがわ	三豊	小豆	東讃	中讃	計
分団数	41	7	9	3	15	10	7	8	10	3	41	154分団
団員数	985	225	843	67	377	232	342	285	794	87	2,870	7,107人

●主な活動内容

- ① 会員増強に関する活動
- ② 災害救護に関する活動
- ③ 救急法、健康生活支援講習等の講習普及に関する活動
- ④ 赤十字病院における活動
- ⑤ 献血推進に関する活動
- ⑥ 青少年赤十字の加盟促進、育成に関する活動
- ⑦ 社会福祉に関する活動
- ⑧ その他



●研修行事の開催と参加状況

主催	行事名	月日	場所	参加者(対象)	参加人数
本社	赤十字奉仕団中央委員会	5月30日(月)～31日(火)	東京都・日赤本社	支部委員会委員長 さぬき市赤十字奉仕団委員長(活動発表)	2
	赤十字ボランティア・リーダー研修会	1月28日(土)～30日(月)	東京都・日赤本社	地域・特殊・青年奉仕団	1
ブロック	中国・四国ブロック赤十字奉仕団協議会	9月27日(火)	日赤高知県支部 (WEB会議)	支部委員会委員長、支部職員	2
	中国・四国ブロック赤十字奉仕団研修会	12月 1日(木)～ 2日(金)	香川県社会福祉総合センター	中国・四国各県奉仕団 (高松市、観音寺、三豊、三木町)	28
支部	赤十字奉仕団県支部委員会	5月18日(水)	日赤香川県支部	支部委員、支部職員	13
	赤十字奉仕団委員長会議	6月 9日(木)	香川県社会福祉総合センター	各市町委員長・副委員長等地区区分担当者	61
	世界救急法の日記念イベント	9月10日(土)	香川県社会福祉総合センター	各地区・分区奉仕団員等	94
	赤十字奉仕団県支部委員会	9月14日(水)	日赤香川県支部	支部委員・支部職員	13
	赤十字奉仕団ボランティア・リーダー研修会	10月31日(月)～11月1日(火)	休暇村讃岐五色台	各地区・分区奉仕団員	28
	NHK海外たすけあい街頭募金	12月10日(土)	高松市内	高松市赤十字奉仕団	42
	赤十字奉仕団基礎研修会	2月16日(木)	香川県社会福祉総合センター	各地区・分区奉仕団員	164

●研修会等の開催

○委員長会議の開催

- 日 時／令和4年6月9日(木) 9:30～14:00
- 場 所／香川県社会福祉総合センター 7階大会議室
- 参 加 者／各市町奉仕団委員長、副委員長、地区・分区担当者 61人
- 参 加 者／赤十字奉仕団活動報告、モデル奉仕団活動報告等

○赤十字奉仕団ボランティア・リーダー研修会

- 日 時／令和4年10月31日(月)～11月1日(火)
- 場 所／休暇村讃岐五色台
- 参 加 者／県内赤十字奉仕団中堅リーダー及び将来リーダーとなる者 28人
- 研修内容／赤十字と赤十字事業、災害時の取り組み、赤十字講習体験
各奉仕団の活動状況の情報交換、非常食作り体験





○赤十字奉仕団基礎研修会

- 日 時／令和5年2月16日(木) 13:30～15:40
- 場 所／香川県社会福祉総合センター1階コミュニティホール
- 参加予定者／各市町赤十字奉仕団員等 164人
- 研修内容／赤十字事業 映写「赤十字この1年 令和3年度」
講演 「ほのぼののふれあい唄」
講師 落語家 桂こけ枝



○地区・分區別赤十字奉仕団研修会

赤十字奉仕団員としての知識を深め、奉仕団活動の一層の進展を図ることを目的に次のとおり研修会を実施しました。
また、災害時に備え、地域の中で赤十字防災ボランティアへの理解を深めるとともに、防災活動の浸透を図る研修も実施しました。

- <研修内容> ○赤十字とボランティア ○赤十字と災害救護 ○赤十字防災ボランティア
○非常食の炊き出し ○応急手当等

●モデル奉仕団の指定

明るく住みよい社会を築きあげていくために必要な活動を展開している赤十字奉仕団において、その活動をより充実させ活発化させていく方策として、下記の活動を重点に推進する奉仕団をモデル奉仕団として毎年3団を指定しています。

指定を受けた奉仕団が、効果的な活動の進め方を探求するとともに、他の奉仕団を啓発し、活動の充実強化に寄与することを目的としています。

- 指 定期 間／3年間
- 指定奉仕団数／毎年3団以内
- 重点活動内容／①地域高齢者支援活動 ②児童の健全育成活動
③非常災害に対する地域防災活動
④会員増強に関する特色ある活動
⑤その他必要な活動

指定年度	奉仕団名	活動内容
令和2年度	さぬき市赤十字奉仕団	非常災害に対する地域防災活動
令和3年度	坂出市赤十字奉仕団	非常災害に対する地域防災活動
	直島町赤十字奉仕団	非常災害に対する地域防災活動 会員増強に関する特色ある活動
令和4年度	善通寺市赤十字奉仕団	地域高齢者支援活動(地域包括ケア) 非常災害に対する地域防災活動 児童の健全育成活動



青年奉仕団

青年奉仕団は将来の赤十字活動の中心となるべき青年や学生によって組織され、ボランティア活動を通して赤十字思想の理解と実践に取り組んでいます。

●組織及び団員数 9団 108人

団 名
香川県青年赤十字奉仕団
さぬき福祉専門学校学生赤十字奉仕団
香川短期大学学生赤十字奉仕団
高松大学・高松短期大学学生赤十字奉仕団
四国医療福祉専門学校学生赤十字奉仕団
四国学院大学学生赤十字奉仕団
香川大学学生赤十字奉仕団
穴吹学園学生赤十字奉仕団
香川県立保健医療大学学生赤十字奉仕団
計 9 団

●主な活動内容

- ①献血キャンペーン活動の実施
- ②海外たすけあいキャンペーン活動
- ③支部実施行事(各種イベント等)への協力
- ④義援金等の募集活動、団員研修・交流
- ⑤救護訓練等への参加



●研修行事の開催と参加状況

主催	行事名	月日	場所	参加者(対象)	参加人数
本社	赤十字ユース委員会	2月11日(土)～12日(日)	東京都・日赤本社	ユース委員	2
ブロック	中国・四国ブロック青年赤十字奉仕団連絡協議会	6月4日(土)～5日(日)	香川県社会福祉総合センター	中国・四国各県 学生・青年赤十字奉仕団メンバー	21
	中国・四国ブロック青年赤十字奉仕団研修会	11月19日(土)～20日(日)	岡山県	中国・四国各県 学生・青年赤十字奉仕団	1
支部 ・ 協議会	青年赤十字奉仕団香川県支部連絡協議会総会	4月16日(土)	香川県社会福祉総合センター	一般	23
	赤十字フェスタ	4月24日(日)	高松丸亀町壱番街前ドーム広場	学生・青年赤十字奉仕団	56
	丸亀愛の広場	5月3日(火・祝)	丸亀市保健福祉センター	学生・青年赤十字奉仕団	1
	防災ボランティア基礎研修会	6月12日(日)	香川県社会福祉総合センター	防災ボランティア他	4
	1日血液センター所長イベント	7月3日(日)	高松丸亀町壱番街前ドーム広場	学生・青年赤十字奉仕団	20
	リラクゼーション研修会	7月3日(日)	日赤香川県支部	一般	5
	青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター	8月6日(土)～7日(日)	五色台少年自然センター	学生・青年赤十字奉仕団	15
	サマー献血キャンペーン	8月14日(日)	香川県赤十字血液センター	学生・青年赤十字奉仕団	5
	サマー献血キャンペーン	9月9日(金)	献血ルーム 他	学生・青年赤十字奉仕団	4
	世界救急法の日記念イベント	9月10日(土)	香川県社会総合福祉センター	一般	1
	リラクゼーション研修会	10月1日(土)	日赤香川県支部	一般	4
	香川県総合防災訓練	10月23日(日)	香川県総合防災訓練	防災ボランティア他	5
	NHK 海外たすけあいキャンペーン	12月10日(土)	高松市内	学生・青年赤十字奉仕団	5
	全国学生クリスマス献血キャンペーン	12月17日(土)	フジ志度店	学生・青年赤十字奉仕団	15
	全国学生クリスマス献血キャンペーン	12月25日(日)	イオンモール高松	学生・青年赤十字奉仕団	15
	おとなとこどもの防災セミナー	1月21日(土)	香川県社会総合福祉センター	一般	2
	防災とボランティアのつどい	3月11日(土)	さぬきこどもの国	学生・青年赤十字奉仕団	5



特殊奉仕団

●香川県アマチュア無線赤十字奉仕団

アマチュア無線の特殊技能を持った人たちによって組織されているアマチュア無線奉仕団は、災害等の非常事態発生の際に連絡網を断られた被災地の情報収集、伝達など通信の確保に協力するための訓練を実施しており、その活動状況は次のとおりです。

- ①組織及び団員数 1団 28人
- ②主な活動内容
 - 県内無線電波の伝播テスト及び電波形式でのテキスト送受訓練
 - 非常通信協議会の非常通信訓練への参加
 - 香川県総合防災訓練参加



●香川県赤十字安全奉仕団

救急法等ボランティア指導員によって組織され、人道を基本理念とする赤十字精神に基づき、事故防止並びに安全思想の普及を図るため、各種講習会において主体的な指導にあたっています。その活動状況は次のとおりです。

- ①組織及び団員数 1団 152人
- ②主な活動内容
 - 救急法等講習普及活動
 - 支部実施行事(各種イベント等)への協力
 - 団員研修・交流



○赤十字安全奉仕団一泊研修会(防災キャンプ2022)の開催

- 日 時/令和4年9月23日(金・祝)～24日(土)
- 場 所/さぬき市南川自然の家
- 内 容/
 - ・赤十字奉仕団員同士の交流と親睦
 - ・発電機取扱・ロープワークの習得
 - ・作って食べよう(サバイバル飯・竹から作る流しそうめん)
 - ・自然を探そう祝辞



※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○赤十字安全奉仕団研修会開催

- 日 時／令和4年12月3日(土)
- 場 所／香川県社会福祉総合センター 3階 健康プレイルーム
- 内 容／①健康体操、健やかに過ごすための脳トレ ②新聞スリッパ、風呂敷リュック
- 参 加 者／38人



●香川県赤十字奉仕団 “ほっと”

健康生活支援講習のリラクゼーション技術を勉強した人によって組織され、定期的に高齢者福祉施設入所者等にリラクゼーションのケアサービスを提供しています。

わずかな時間そばに付き添い、静かに話に耳を傾けスキンシップをすることで、相互の心身のやすらぎやストレスの緩和につながります。温かい両手と笑顔と共感の心で実践活動を行っています。

- ①組織及び団員数 1団 39人
- ②主な活動内容
 - 施設へのケアサービス提供
 - 団員研修会の開催 (2回、参加者19人)
 - 団員の増強とケアサービスの普及、充実
 - 支部実施工事 (各種イベント等) への協力



●香川県青少年赤十字賛助奉仕団

青少年赤十字加盟校を退職された指導者によって組織されている青少年赤十字賛助奉仕団は、加盟校在籍中の経験を生かした青少年赤十字の普及、加盟促進への協力活動等を行っています。

- ①組織及び団員数 1団 86人
- ②主な活動内容
 - 青少年赤十字の普及、加盟促進への協力
 - 青少年赤十字加盟校への協力
 - 香川県教育委員会への働きかけ
 - 校長会・園長会等への働きかけ
 - 地域赤十字奉仕団との連携



●香川県レスキューサポートバイク赤十字奉仕団

災害時に赤十字ボランティア活動を実施するためバイク愛好家により結成し活動しております。

大地震等の災害に備え、小回りの利くバイクの機動力を生かし、救援活動や情報収集をするため、訓練等を実施して緊急時に備えています。

- ①組織及び団員数 1団 19人
- ②主な活動内容
 - 支部実施工事 (各種イベント等) への協力
 - 団員研修・交流





青少年赤十字

青少年赤十字は、青少年が赤十字の精神に基づいて世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、青少年自身が日常生活の中で望ましい人格と精神を自ら形成することを目的として、学校（幼稚園・保育所）内に組織されています。

日本全国で保育所から高等学校まで約1万4千校、340万人余りのメンバーが加盟し、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」という3つの実践目標と、「気づき、考え、実行する」という態度目標を掲げ活動しています。

県内の加盟状況等は、次のとおりです。

●加盟状況

区分	保育所	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学校数	37	149	152	70	43	9	460
メンバー数	2,837	12,573	38,861	21,642	18,814	832	95,559



●加盟校（所・園）一覧表（※は、新規加盟校）

学校名	メンバー	学校名	メンバー	学校名	メンバー
高松市立瀬戸内保育所	22	高松市立弦打保育所	79	こぶし花園保育園	101
高松市立扇町保育所	105	高松市立鬼無保育所	30	坂出市立江尻保育所	51
高松市立宮脇保育所	36	高松市立三谷保育所	118	坂出市立西部保育所	18
高松市立松島保育所	117	高松市立多肥保育所	138	坂出市立南部保育所	112
高松市立福岡保育所	34	高松市立西植田保育所	25	坂出市立加茂保育所	67
高松市立桜町保育所	138	高松市立東植田保育所	20	育愛館	110
高松市立田村保育所	41	高松市立大野保育所	38	豊城福祉会坂出保育園	84
高松市立鶴尾保育所	21	高松市立川東南保育所	11	林田保育園	93
高松市立太田保育所	117	高松市立国分寺北部保育所	72	みどり保育園	98
高松市立木太保育所	146	高松市立国分寺南部保育所	96	愛集苑保育所	17
高松市立古高松保育所	148	高松市立牟礼保育所	104	さぬき市立長尾保育所	76
高松市立下笠居東部保育所	33	高松市立田井保育所	55		
高松市立香西保育所	187	松福福祉会城東保育園	79	計 37	2,837
香川大学教育学部附属幼稚園高松園舎	29	栗林学園栗林幼稚園	255	坂出市立松山こども園	92
高松市立前田幼稚園	22	二番丁学園二番丁幼稚園	135	ルンビニ幼稚園	142
高松市立川添幼稚園	26	亀阜学園亀阜幼稚園（認定こども園）	142	きんかこども園	157
高松市林こども園	224	高松学園高松幼稚園	151	坂出一高幼稚園	131
高松市立三溪幼稚園	30	屋島教会学園屋島教会幼稚園	70	善通寺市立中央幼稚園	55
高松市立香西幼稚園	37	聖母学園高松聖母幼稚園	89	善通寺市立西部幼稚園	37
高松市立一宮幼稚園	29	聖母学園桜町聖母幼稚園	134	善通寺市立南部幼稚園	45
高松市立多肥幼稚園	35	相愛学園相愛幼稚園	209	善通寺市立東部幼稚園	65
高松市立川岡幼稚園	17	小山学園愛育幼稚園	40	善通寺市立北幼稚園	8
高松市立門座幼稚園	35	青空幼稚園	141	善通寺市立竜川幼稚園	150
高松市立檀紙幼稚園	28	百華学園太田百華幼稚園	179	善通寺市立筆岡幼稚園	53
高松市立弦打幼稚園	22	光華学園光華幼稚園	154	善通寺市立吉原幼稚園	32
高松市立鬼無幼稚園	17	新田学園新田幼稚園（認定こども園）	137	聖母学園善通寺聖母幼稚園	57
高松市立笠居こども園	60	らく楽寺井幼稚園	204	香川短期大学附属のぞみこども園	84
高松市立木太幼稚園	58	国東学園くにとう幼稚園	309	観音寺市立観音寺こども園	368
高松市川島こども園	207	認定こども園やしま幼稚園	230	観音寺市立観音寺中央幼稚園	148
高松市屋島こども園	110	認定こども園つくし幼稚園	74	観音寺市立大野原こども園	272
高松市立春日幼稚園	12	まゆみ学園まゆみ幼稚園	96	観音寺市立豊浜幼稚園	112
高松市立木太北部幼稚園	25	認定こども園サンシャインこどもの森	146	聖母学園観音寺聖母幼稚園	88
高松市庵治こども園	82	認定こども園 中野保育所	152	さぬき市立津田こども園	84
高松市塩江こども園	44	花ノ宮こども園	101	さぬき市立さぬき南幼稚園	40
高松市はらこども園	134	認定こども園すまいる	185	さぬき市立志度幼稚園	42
高松市立栗山幼稚園	34	丸亀市立西幼稚園	29	さぬき市立さぬき北幼稚園	4
高松市立大町幼稚園	5	丸亀市立城坤幼稚園	66	さぬき市立寒川幼稚園	24
高松市立大野幼稚園	30	丸亀市立城東幼稚園	45	さぬき市立長尾幼稚園	15
高松市浅野こども園	139	丸亀市立城辰幼稚園	37	さぬき市立造田幼稚園	30
高松市川東こども園	108	丸亀市立郡家こども園	147	聖母学園長尾聖母幼稚園	20
高松市香南こども園	183	丸亀市立あやうたこども園	72	社会福祉法人長尾福祉会認定こども園長尾学舎	76
高松市立国分寺北部幼稚園	56	丸亀市立飯山こども園	133	東かがわ市立引田こども園	90
高松市立国分寺南部幼稚園	63	聖母学園丸亀聖母幼稚園	90	※ 東かがわ市立大内こども園	111
高松中央高校幼稚園	46	丸亀虎岳学園丸亀城南虎岳幼稚園	229	東かがわ市丹生こども園	50
ときわ幼稚園	99	香川大学教育学部附属幼稚園	75	三豊市立二ノ宮幼稚園	14
高松聖母被昇天学院マリア幼稚園	178	坂出市立坂出中央幼稚園	28	三豊市立比地二幼稚園	43
高松聖ヤコブ幼稚園	76	坂出市立林田幼稚園	30	三豊市立上高瀬幼稚園	53
四国高松学園高松東幼稚園（認定こども園）	120	坂出市立加茂幼稚園	5	三豊市立勝間幼稚園	34
香川県百華学園 勅使百華幼稚園	207	坂出市立府中こども園	53	三豊市立麻幼稚園	18
のぞみ幼稚園	85	坂出市立川津こども園	98	三豊市立山本幼稚園	52

学校名	メンバー	学校名	メンバー	学校名	メンバー
三豊市立吉津幼稚園	39	小豆島町立星城幼稚園	17	認定こども園香川短期大学附属幼稚園	187
三豊市立下高瀬幼稚園	32	小豆島町立安田幼稚園	19	まんのう町立高篠こども園	41
三豊市立大見幼稚園	36	小豆島町立苗羽幼稚園	10	まんのう町立四条こども園	61
三豊市立豊中幼稚園	241	小豆島町立福田幼稚園	2	まんのう町立満濃南こども園	158
三豊市立詫間幼稚園	47	小豆島町立小豆島こどもセンター (小豆島町立池田幼稚園)	111	まんのう町立長炭こども園	45
三豊市立松崎幼稚園	13	三木町立しの子幼稚園	122	まんのう町立仲南こども園	65
三豊市立仁尾こども園	116	三木町立田中幼稚園	17	まんのう町立琴南こども園	42
三豊市立曾保幼稚園	2	三木町立氷上幼稚園	54	琴平町立南こども園	70
土庄町立土庄こども園	175	三木町立白山幼稚園	30	琴平町立北こども園	62
土庄町立大鐸こども園	35	三木学園あおば幼稚園	174	多度津町立四箇幼稚園	39
土庄町立大部こども園	8	直島町立直島幼児学園 (認定こども園)	87	多度津町立豊原幼稚園	61
土庄町立北浦こども園	36	宇多津町立宇多津幼稚園	56	多度津町立多度津幼稚園	42
土庄町立四海こども園	36	青山幼稚園	107	計 149	12,573

学校名	メンバー	学校名	メンバー	学校名	メンバー
香川大学教育学部附属高松小学校	620	丸亀市立城西小学校	540	三豊市立二ノ宮小学校	63
高松市立新番丁小学校	850	丸亀市立城南小学校	642	三豊市立比地小学校	146
高松市立亀阜小学校	518	丸亀市立城東小学校	603	三豊市立上高瀬小学校	208
高松市立栗林小学校	24	丸亀市立城辰小学校	321	三豊市立勝間小学校	165
高松市立花園小学校	228	丸亀市立本島小学校	3	三豊市立麻小学校	108
高松市立高松第一小学校	625	丸亀市立郡家小学校	781	三豊市立山本小学校	304
高松市立鶴尾小学校	31	丸亀市立飯野小学校	314	三豊市立吉津小学校	144
高松市立太田小学校	781	丸亀市立垂水小学校	326	三豊市立下高瀬小学校	184
高松市立木太小学校	432	丸亀市立富熊小学校	219	三豊市立大見小学校	139
高松市立古高松小学校	461	丸亀市立栗熊小学校	126	三豊市立桑山小学校	110
高松市立屋島小学校	323	丸亀市立岡田小学校	10	三豊市立笠田小学校	115
高松市立前田小学校	180	丸亀市立飯山北小学校	551	三豊市立本山小学校	138
高松市立川添小学校	514	丸亀市立飯山南小学校	304	三豊市立上高野小学校	99
高松市立林小学校	20	香川大学教育学部附属坂出小学校	417	三豊市立比地大小学校	128
高松市立三溪小学校	491	坂出市立坂出小学校	566	三豊市立詫間小学校	468
高松市立仏生山小学校	566	坂出市立東部小学校	12	三豊市立松崎小学校	105
高松市立香西小学校	444	坂出市立金山小学校	144	三豊市立仁尾小学校	214
高松市立一宮小学校	647	坂出市立西庄小学校	34	三豊市立曾保小学校	12
高松市立多肥小学校	25	坂出市立林田小学校	325	三豊市立財田小学校	150
高松市立川岡小学校	59	坂出市立加茂小学校	206	土庄町立土庄小学校	474
高松市立円座小学校	720	坂出市立府中小学校	105	土庄町立豊島小学校	17
高松市立檀紙小学校	588	坂出市立川津小学校	8	小豆島町立星城小学校	131
高松市立弦打小学校	512	坂出市立松山小学校	147	小豆島町立安田小学校	116
高松市立鬼無小学校	8	善通寺市立東部小学校	263	小豆島町立苗羽小学校	106
高松市立下笠居小学校	233	善通寺市立中央小学校	181	小豆島町立池田小学校	21
高松市立男木小学校	6	善通寺市立西部小学校	127	三木町立平井小学校	579
高松市立川島小学校	445	善通寺市立南部小学校	167	三木町立田中小学校	104
高松市立十河小学校	91	善通寺市立与北小学校	36	三木町立氷上小学校	532
高松市立東植田小学校	25	善通寺市立竜川小学校	391	三木町立白山小学校	266
高松市立植田小学校	86	善通寺市立筆岡小学校	226	直島町立直島小学校	6
高松市立中央小学校	885	善通寺市立吉原小学校	133	宇多津町立宇多津小学校	404
高松市立太田南小学校	925	観音寺市立観音寺小学校	558	宇多津町立宇多津北小学校	542
高松市立木太南小学校	188	観音寺市立伊吹小学校	5	綾川町立綾上小学校	6
高松市立古高松南小学校	713	観音寺市立高室小学校	121	綾川町立昭和小学校	222
高松市立屋島東小学校	12	観音寺市立常磐小学校	332	綾川町立陶小学校	96
高松市立屋島西小学校	322	観音寺市立豊田小学校	148	綾川町立滝宮小学校	6
高松市立木太北部小学校	388	観音寺市立栗井小学校	80	綾川町立羽床小学校	16
高松市立塩江小学校	51	観音寺市立柞田小学校	443	まんのう町立琴南小学校	54
高松市立庵治小学校	147	観音寺市立一ノ谷小学校	245	まんのう町立高篠小学校	151
高松市立牟礼小学校	275	観音寺市立大野原小学校	541	まんのう町立四条小学校	237
高松市立牟礼北小学校	428	観音寺市立豊浜小学校	334	まんのう町立満濃南小学校	204
高松市立牟礼南小学校	176	さぬき市立津田小学校	182	まんのう町立長炭小学校	117
高松市立大野小学校	13	さぬき市立さぬき南小学校	195	まんのう町立仲南小学校	169
高松市立浅野小学校	15	さぬき市立志度小学校	491	琴平町立琴平小学校	115
高松市立川東小学校	19	さぬき市立さぬき北小学校	8	琴平町立榎井小学校	82
高松市立香南小学校	6	さぬき市立寒川小学校	224	琴平町立象郷小学校	107
高松市立国分寺北部小学校	17	さぬき市立長尾小学校	405	多度津町立四箇小学校	304
高松市立国分寺南部小学校	221	さぬき市立造田小学校	174	多度津町立白方小学校	64
丸亀市立城乾小学校	172	東かがわ市立引田小学校	212	多度津町立豊原小学校	432
丸亀市立城坤小学校	668	東かがわ市立白鳥小学校	311	多度津町立多度津小学校	242
丸亀市立城北小学校	8	東かがわ市立大内小学校	500	計 152	38,861

学校名	メンバー	学校名	メンバー	学校名	メンバー
香川大学教育学部附属高松中学校	312	高松市立一宮中学校	351	高松市立牟礼中学校	417
香川県立高松北中学校	312	高松市立香東中学校	831	高松市立香川第一中学校	175
高松市立桜町中学校	777	高松市立下笠居中学校	92	高松市立香南中学校	176
高松市立紫雲中学校	630	高松市立男木中学校	4	高松市立国分寺中学校	672
高松市立玉藻中学校	523	高松市立山田中学校	539	丸亀市立東中学校	646
高松市立高松第一中学校	316	高松市立太田中学校	674	丸亀市立西中学校	789
高松市立屋島中学校	429	高松市立古高松中学校	545	丸亀市立南中学校	715
高松市立協和中学校	257	高松市立木太中学校	806	丸亀市立本島中学校	4
高松市立龍雲中学校	26	高松市立塩江中学校	38	※丸亀市立小島中学校	1
高松市立勝賀中学校	670	高松市立庵治中学校	68	丸亀市立綾歌中学校	281

学校名	メンバー	学校名	メンバー	学校名	メンバー
丸亀市立飯山中学校	489	さぬき市立志度中学校	351	小豆島町立小豆島中学校	280
香川大学教育学部附属坂出中学校	5	さぬき市立長尾中学校	301	三木町立三木中学校	54
坂出市立坂出中学校	11	東かがわ市立引田中学校	107	直島町立直島中学校	63
坂出市立東部中学校	10	東かがわ市立白鳥中学校	172	宇多津町立宇多津中学校	479
坂出市立白峰中学校	419	東かがわ市立大川中学校	253	※ 綾川町立綾川中学校	558
坂出市立瀬居中学校	6	三豊市立高瀬中学校	353	まんのう町立満濃中学校	473
普通寺市立西中学校	303	三豊市立三野津中学校	240	琴平町立琴平中学校	168
※ 普通寺市立東中学校	412	三豊市立豊中中学校	238	多度津町立多度津中学校	551
観音寺市立観音寺中学校	279	三豊市立詫間中学校	253	大手前高松中学校	150
観音寺市立中部中学校	478	三豊市立仁尾中学校	115	香川誠陵中学校	190
観音寺市立伊吹中学校	4	三豊市立和光中学校	88	大手前丸亀中学校	282
観音寺市立大野原中学校	258	三豊市観音寺市学校組合立三豊中学校	355	香川県藤井中学校	257
観音寺市立豊浜中学校	169	土庄町立土庄中学校	7		
さぬき市立さぬき南中学校	369	土庄町立豊島中学校	16	計 70	21,642

学校名	メンバー	学校名	メンバー	学校名	メンバー
香川県立小豆島中央高等学校	481	香川県立農業経営高等学校	279	藤井学園寒川高等学校	450
香川県立三本松高等学校	39	香川県立坂出商業高等学校	481	高松中央高等学校	945
香川県立津田高等学校	268	香川県立坂出高等学校	743	英明高等学校	496
香川県立志度高等学校	307	香川県立坂出工業高等学校	340	大手前高松高等学校	694
香川県立石田高等学校	306	香川県立飯山高等学校	35	香川誠陵高等学校	334
香川県立三木高等学校	469	香川県立丸亀高等学校	28	坂出第一高等学校	335
香川県立高松北高等学校	60	香川県立丸亀城西高等学校	576	大手前丸亀高等学校	284
香川県立高松高等学校	282	香川県立普通寺第一高等学校	573	香川県藤井高等学校	418
香川県立高松工芸高等学校	20	香川県立琴平高等学校	544	村上学園高等学校	169
香川県立高松商業高等学校	806	香川県立多度津高等学校	530	尽誠学園高等学校	769
香川県立高松東高等学校	699	香川県立笠田高等学校	342	四国学院大学香川西高等学校	543
香川県立高松南高等学校	897	香川県立高瀬高等学校	375	RITA 学園高等学校	115
香川県立高松西高等学校	838	※ 香川県立観音寺第一高等学校	702	香川高等専門学校 高松キャンパス	502
香川県立高松桜井高等学校	828	香川県立観音寺総合高等学校	37		
香川県立香川中央高等学校	42	高松市立高松第一高等学校	833	計 43	18,814

学校名	メンバー	学校名	メンバー	学校名	メンバー
香川県立盲学校	16	香川県立高松養護学校	102	香川大学教育学部附属特別支援学校	57
香川県立聾学校	28	香川県立香川丸亀養護学校	247		
香川県立香川東部養護学校	5	香川県立普通寺養護学校	117		
香川県立香川中部養護学校	153	香川県立香川西部養護学校	107	計 9	832

●研修行事の開催と参加状況

主催	学校名	月日	場所	参加者(対象)	参加人数
本社	全国指導者協議会総会・研修会	6月29日(水)	東京都・日赤本社 (WEB 開催)	指導者協議会長	1
	全国賛助奉仕団協議会総会	7月14日(木)~15日(金)	東京都・日赤本社	賛助奉仕団委員長	1
	スタディー・プログラム	3月21日(火・祝)、25日(土)	日赤香川県支部、東京都・日赤本社	高校生メンバー	2
ブロック	中国・四国ブロック賛助奉仕団連絡協議会・研修会	10月28日(金)~29日(土)	広島県	中・四国賛助奉仕団員	2
	中国・四国ブロック指導者協議会	11月10日(木)~11日(金)	島根県	指導者協議会役員、支部職員	2
支部 協議会 ・ 賛助	香川県指導者協議会役員会	4月26日(火)	日赤香川県支部	指導者協議会役員	12
	香川県賛助奉仕団総会・役員会	4月26日(火)	香川県社会福祉総合センター	賛助奉仕団役員	7
	リーダーシップ・トレーニング・センター事前打ち合	7月19日(火)	日赤香川県支部	指導者、小・中・高メンバー	17
	リーダーシップ・トレーニング・センター	8月6日(土)~7日(日)	香川県立五色台少年自然センター	指導者、支部職員	68
	リーダーシップ・トレーニング・センター指導者研修会(仮倉会)	9月 5日(月)	日赤香川県支部	指導者	10
	香川県指導者研修会	9月20日(火)	香川県社会福祉総合センター	指導者	37
	香川県指導者協議会役員会	9月29日(木)	日赤香川県支部	指導者協議会役員、支部職員	9
	香川県賛助奉仕団役員会	9月29日(木)	香川県社会福祉総合センター	賛助奉仕団役員、支部職員	6
	研究発表会	10月27日(木)	坂出市立林田小学校	指導者等	126
	香川県指導者協議会役員会	3月17日(金)	日赤香川県支部	指導者協議会役員	9
香川県賛助奉仕団役員会	3月17日(金)	香川県社会福祉総合センター	賛助奉仕団役員	8	





●青少年赤十字指導者研修会の開催

青少年赤十字指導者をはじめとする参会者に、学校現場へ青少年赤十字を取り入れ、学校づくりや子どもの育成等に役立てていただくことを目的として開催することとしており、令和4年度においては、次のとおり開催しました。

- 日 時／令和4年9月20日(火) 14:00～16:00
- 場 所／香川県社会福祉総合センター 7階第1中会議室
- 参 加 者／青少年赤十字加盟校指導者等 37人
- 講演内容／講演「災害発生時からその後に向けて」
～地域の復興と学校の再開を目標に～
講師／震災・学校支援チーム(EARTH)員
上田 敦史 氏(南あわじ市・洲本市組合立広田小学校 教諭)
金戸 竜 氏(南あわじ市立阿万小学校 教諭)



●青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センターの開催

青少年赤十字の組織と活動のリーダーとなる児童・生徒の養成を目的として開催します。

知識、技術、態度の面から赤十字と青少年赤十字について学習します。

- 日 時／令和4年8月6日(土)・7日(日)
- 場 所／香川県立五色台少年自然センター
- 参 加 者／小・中・高校生メンバー、指導者 68人
- 内 容／赤十字の歴史、健康安全プログラム、フィールドワーク等



青少年赤十字研究推進校の指定

青少年赤十字活動の充実強化を図るとともに、地域への理解促進を図り、青少年赤十字事業の振興を期するため、青少年赤十字研究推進校を指定し、研究を委嘱しました。

○指定状況

指定年度	指定期間	研究主題	指定校名
令和3年度	令和3年度～4年度	目標をもち、主体的・協働的に達成を目指す児童の育成	坂出市立林田小学校
令和4年度	令和4年度～5年度	「子どもが問う なかまづくり」	高松市立亀阜小学校

●研究発表会の開催

- 日 時／令和4年10月27日(木)
- 開 催 校／坂出市立林田小学校
- 参 加 者／教育関係者、赤十字関係者、一般参加者等 126名





高松赤十字病院は、明治40年6月1日に日本赤十字社香川支部病院として設立されて以来、医療法における公的医療機関として地域医療の中核を担うとともに、災害時には医療救護活動の重要な拠点として地域医療に貢献してきました。また、急性期・高度急性期型医療施設として、DPC(包括医療支払制度)への対応、地域がん診療連携拠点病院の指定、7対1の看護基準の取得、地域医療支援病院の承認、地域周産期母子医療センターの認定や手術支援ロボット「ダヴィンチ」の2台体制、MRI3テスラ、最新鋭320列CTの導入や、電子カルテの更新、造血幹細胞・腎臓の移植医療に関する診療基盤の整備、TAVI(経カテーテル大動脈弁留置術)、Mitra Clip(経皮的僧帽弁クリップ術)認定等、診療機能の強化を図ってきました。

令和2年4月からは本館北タワーが本格稼働となり、PET-CTやIVR-CT、高度放射線治療機器など高度医療機器を整備拡充しており、更なる診療機能の強化、業務の効率化を図り、高度専門医療を提供する公的病院として質の高い医療の提供に努めています。

一方で令和2年から4年にかけてパンデミックとなった新型コロナウイルス感染症への対応では、救急病棟を感染症専用病床として転用し、また、一部重症患者ではICUをコロナ専用病床として活用するなど、多くの患者さんの救命に貢献しています。

●**病床数** 564床(一般病床562床 結核病床2床)

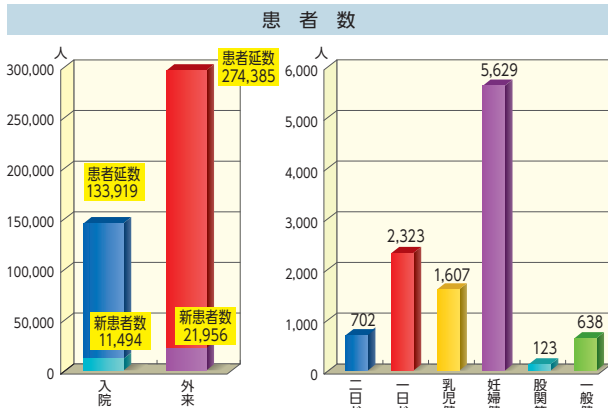
●診療科目

内科、血液内科、腫瘍内科、腎臓内科、内分泌・代謝内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、呼吸器内科、感染症内科、小児科、消化器外科、胸部・乳腺外科、小児外科、脳神経外科、脳卒中外科、心臓血管外科、整形外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、腎臓外科(臓器移植)、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、歯科口腔外科、精神科、リハビリテーション科、麻酔科、救急科、放射線科、病理診断科

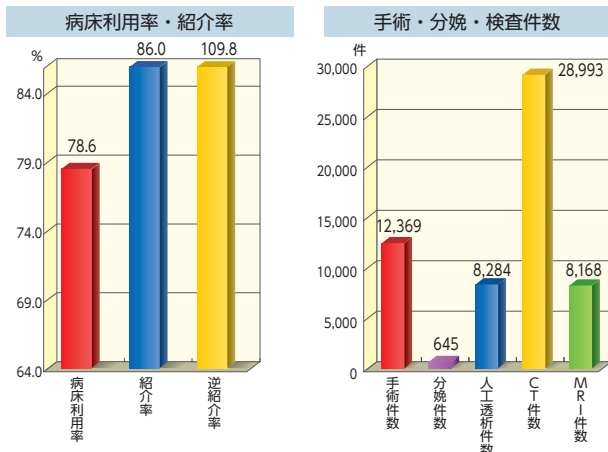
●職員数 (令和5年3月31日現在)

- 医師 218人
- 医療技師 182人
- 看護師・助産師 577人
- 事務職員 183人
- その他職員 56人

●業務実績 (令和4年度)



一日平均入院患者数	366.9人
一日平均外来患者数	1,129.2人
平均在院日数	11.3日



●主な指定、施設基準

- 災害拠点病院(地域災害医療センター)
- 病院群輪番制第二次救急指定病院
- 臨床研修指定病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 地域医療支援病院
- 産科医療補償制度加入機関
- 地域周産期母子医療センター
- 急性期一般入院基本料1
- 総合入院体制加算2
- 医療安全対策加算1
- 感染防止対策加算1
- 特定集中治療室管理料2
- 新生児特定集中治療室管理料2
- 医師事務作業補助体制加算1 15対1
- 急性期看護補助体制加算25対1
- 無菌治療室管理加算1

●その他認定取得

- (財)日本医療機能評価機構認定施設
- ホスピレート認証施設
- 卒後臨床研修評価機構認定施設
- 看護師の特定行為研修指定研修機関

●医療の質の向上

- ①医師の育成と確保
 - 初期、後期臨床研修の指導體制の充実
 - 初期、後期研修医の確保
令和4年度 初期19名、後期10名
 - 医師事務支援体制の充実(医師の外来業務負担軽減)
令和5年3月31日現在、外来クラーク38名
- ②診療科創設
 - 感染症内科、脳卒中外科の開設
- ③看護師の育成と確保
 - 新人看護師、新人助産師及び看護師の教育体制の充実
令和4年度新人看護師35名(助産師4名を含む)

- 認定看護師、専門看護師など専門分野における高度な知識、技術を有する看護師の育成
令和5年3月31日現在 認定看護師30名、
専門看護師2名
- 特定行為研修修了看護師の配置
令和5年3月31日現在 20名
- 病棟クラーク（看護業務の事務支援スタッフ）の拡充
令和5年3月31日現在 8名
- ④ 医療スタッフの育成と確保
 - 薬剤師によるチーム医療、各種指導体制の強化
 - 臨床検査技師による検査部門の充実と患者サービスの向上
 - 放射線科技師による放射線治療及び画像検査体制の充実
 - 超音波診療センターの体制整備、機能の拡充
 - 作業療法士(OT)、理学療法士(PT)、言語療法士(ST)による急性期リハビリ体制の充実、土曜日リハビリの完全実施、日、祝日リハビリの拡充
 - 臨床工学技士による手術、透析、心臓カテーテル支援の充実、医療機器の中央管理
 - 管理栄養士による栄養サポート、栄養指導体制の強化
- ⑤ 病診・病病連携の強化
 - 医療社会事業部のマンパワーの強化と機能拡充
 - 地域連携の前方・後方・双方向の支援体制強化
 - 逆紹介の推進（令和4年度逆紹介率109.8%）
 - 入退院支援部門の多職種による機能強化
 - 地域連携機関とのホットラインの運用強化（循環器内科、脳神経外科、泌尿器科等）
 - 「高松赤十字病院地域連携フォーラム」の開催
 - 地域連携ニュース（医師向け）の継続発行
 - 高松赤十字病院登録医制度の拡充、運用の推進
- ⑥ チーム医療の推進
 - 多職種参加研修会、講演会等の開催
- ⑦ 救急医療の充実
 - 救急医療スタッフの拡充
 - 24時間診療体制の維持
 - 救急車の受入強化、応需率の向上
 - ドクターカーの有効活用
- ⑧ 周産期医療並びに小児医療の強化
 - 高度生殖医療センターの充実
- ⑨ がん医療の充実
 - PET-CTの有効活用
 - リニアックの推進
 - 緩和医療の推進
 - がんゲノム医療の推進
- ⑩ 医療安全管理体制の強化
 - 院内迅速対応システム（RRS）の推進
 - 医療安全の研修会参加
- ⑪ 院内感染防止対策の強化
 - これまでの新型コロナウイルス感染症患者の受入実績（入院陽性患者876人、外来陽性患者1,737人）
 - 院内感染対策室の機能強化
 - 感染対策講習会参加の徹底
 - 新型コロナウイルス対策協議会の開催
- ⑫ 救護、救援体制の強化
 - 医療救護活動の体制強化
 - 大規模災害を想定した訓練の実施 令和4年12月15日（木）
 - 受水槽の更新
- ⑬ 医療機器等の更新
 - 超音波診断装置
 - フローサイトメーター
 - 自動免疫染色システム

●患者サービスの向上

- ① 患者への情報提供の推進
 - ホームページ、広報誌「なんがでつきよんな」の充実
 - 患者図書室の有効活用
 - 院内情報配信システムの有効活用
- ② 待ち時間の短縮
 - ホスピジョン（患者番号案内表示システム）
 - 予約時間の徹底、新患外来の推進
- ③ 接遇能力の向上
 - 職員の接遇研修の強化
 - 患者満足度の向上
 - ご意見箱の設置
- ④ 人間ドックの充実
- ⑤ 病院へのアクセス改善
 - 日赤シャトルバス
- ⑥ アメニティの向上
 - 患者Wi-Fiの運用開始
 - オンライン面会の運用開始
- ⑦ コンシェルジュの適正配置



院内災害訓練



受水槽（地域災害拠点病院施設整備費補助金）



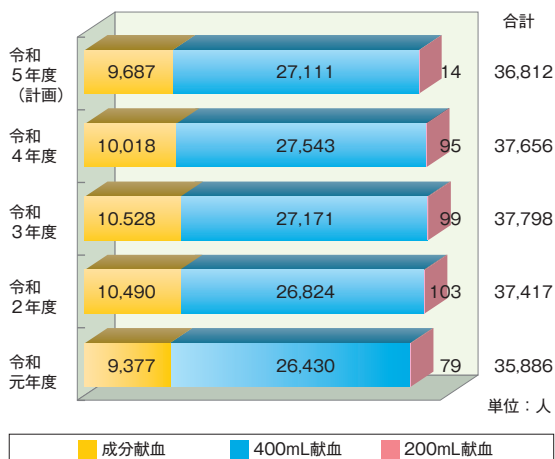
フローサイトメーター（保健衛生施設等設備整備費国庫補助金）



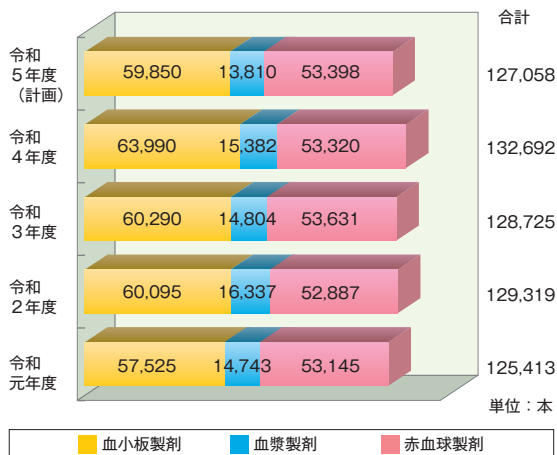
血液事業

「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」により、行政の定める献血推進計画に基づき、献血受入計画を作成し、安全な血液製剤の安定供給に努めています。また、各献血協力団体との連携の強化はもとより、広報活動の充実に努め、さまざまなキャンペーンや広報を通じて県民の皆様に献血思想の普及、啓発を図っています。

1. 県内献血実績（人）



2. 県内輸血用血液供給実績（200mL換算本数）



3. 献血稼働実績

	献血バス	一台平均数	献血ルーム	一日平均数
令和5年度(計画)	340台	55.0人	360日	50.2人
令和4年度	341台	55.6人	360日	51.9人
令和3年度	322台	58.1人	361日	52.9人
令和2年度	301台	60.5人	360日	53.3人
令和元年度	312台	57.7人	361日	49.6人

4. 「全国学生クリスマス献血キャンペーン」

学生献血ボランティアが主催し、学生を中心に献血の輪を拡大することを目的に昭和63年から実施され、本県においてもアイデアを凝らしたイベントを令和4年12月1日から25日にかけて実施しました。

5. 「はたちの献血キャンペーン」

冬季における輸血用血液の安定確保を図るため、令和5年1月1日から2月28日までの2ヵ月間、成人として社会への第一歩を踏み出そうとしている若い方を中心にキャンペーンを実施しました。

6. 「若年層への普及啓発」

少子高齢化による献血者減少に対応するため、主に将来の献血を担う10代を中心とした若年層世代を対象に献血について正しい知識の習得や、助け合いの精神を育成すること等を目的とした「献血出前セミナー」や「血液センターでの見学学習」を実施し、若年層への献血に関する知識の普及啓発活動を行いました。

7. 「献血Web会員サービス『ラブラッド』の推進」

献血Web会員サービス『ラブラッド』の周知に努め、また活用を促すなどし、加入者の増加を目指すとともに、複数回献血に協力を得られるよう取り組みました。特に若年層献血者の確保に向け積極的にPR活動を行いました。

8. 「献血協賛企業活動の推進」

献血活動への理解と協力並びに社会貢献活動の象徴として作成したロゴマーク「献血サポーター」を、献血協力企業及び団体に活用してもらうことにより、献血活動を広く一般社会に周知するとともに、企業・団体が行なう献血活動の普及・拡大を推進しました。

9. 「各種媒体による広報」

献血へのより一層の推進を図るため、献血ルーム「オリーブ」を中心に、FMラジオ、地元タウン情報誌、ホームページ等の各種情報媒体を活用した広報を実施しました。

香川県赤十字血液センター

〒761-8031 高松市郷東町字新開587-1
TEL 087-881-1500

献血ルーム“オリーブ”

〒760-0029 高松市丸亀町13番地3
高松丸亀町参番街東館3F
TEL 087-821-2300



赤十字思想の普及

社業の進展を図るためには、多くの方々に赤十字の趣旨と活動についての理解と認識を深めていただくことが肝要です。そのために県内各地で行った救急法等の講習会をはじめ、諸会合等あらゆる機会をとらえて広報活動に努めました。また、テレビ、ラジオ、新聞などの報道機関や市町広報の協力を得て、赤十字会員増強運動月間、義援金の受付、献血キャンペーン、救急法等講習会のPRを実施しました。

赤十字思想の普及

◎「赤十字フェスタ2022」の開催

5月8日の世界赤十字デーを中心に、広く県民に赤十字を理解してもらうことを目的に、「赤十字フェスタ」を開催することとしており、令和4年度においては、次のとおり赤十字思想の普及啓発キャンペーンを実施しました。

- 主催／日本赤十字社香川県支部、高松赤十字病院、香川県赤十字血液センター
令和4年4月24日(日) 11:00～15:00
- 場所／高松丸亀町壱番街前ドーム広場
- 内容／・保健師による健康相談・体力測定コーナー 握力・血圧・体脂肪測定
・献血コーナー 献血ルーム「オリーブ」にて献血の呼び掛け
・講習体験コーナー 災害時に役立つ救急法、ロープワーク等体験
・リラクゼーションコーナー
・キャンペーンコーナー
・平成30年7月豪雨災害救護活動等の写真展示
・子ども用救護服試着体験、記念撮影
・香川県レスキューサポートバイク赤十字奉仕団のバイク展示・活動紹介
- 参加協力／香川県立高松南高等学校
- 参加者／赤十字ボランティア等 70人
一般来場者 約1,500人

なお、当日の赤十字ボランティア等による募金は52,523円となりました。これらは全額、国内外で苦しむ人々の支援を続けるために、赤十字の活動資金として有効に活用させていただきました。



◎「世界救急法の日(World First Aid Day)」記念イベントの開催

9月の第2土曜日は、国際赤十字・赤新月社連盟が世界統一のキャンペーンとして定めた「World First Aid Day」(世界救急法の日)であることから、令和4年度においては、次のとおり記念イベントを実施し、高松赤十字病院「県民公開講座」を開催するとともに、参加者に一次救命処置の重要性について認識を深めていただく機会を提供しました。

- 主催／日本赤十字社香川県支部、高松赤十字病院
- 日時／令和4年9月10日(土) 10:00～11:40
- 場所／香川県社会福祉総合センター1階コミュニティホール
- 内容／・高松赤十字病院「県民公開講座」
演題「新型コロナウイルス感染症と向き合い 今 思う事」
講師 高松赤十字病院 感染管理認定看護師 岡崎美津子
・講演「つなげよう救命の連鎖 広げよう地域の輪」
日本赤十字社香川県支部職員
・実演「一次救命処置」 救急法指導員
- 来場者／94人





香川県赤十字有功会

◎令和4年度香川県赤十字有功会総会の開催

有功会は、赤十字を理解し、赤十字の活動資金である会費を拠出いただき日本赤十字社有功章等を受章された方々により赤十字の有力な支援団体として赤十字思想の普及と事業の推進等を図るため結成された組織です。香川県赤十字有功会は平成16年に結成されました。

令和4年度の総会は、7月21日(木)に開催され、会員並びに赤十字関係者総勢64人が出席し、赤十字活動の支援、赤十字精神の普及・啓発を中心とした事業計画等が承認されました。また議会で先立ち、赤十字に高額の活動資金の寄託がありました方々に浜田恵造支部長から有功章等の表彰伝達が行われました。

- 会員数/個人 48人 法人 100社
- 総会日時/令和4年7月21日(木)
- 場所/ホテルパールガーデン
- 参加者/64人
- 社長感謝状/個人 2人 法人 4社
- 金色有功章/個人 10人 法人 13社
- 銀色有功章/個人 13人 法人 49社



評議員会

評議員会は、会員（法人が会員の場合は、その法人を代表する役員）の中から選出された評議員をもって組織されます。

評議員会は、支部の重要な業務について審議するほか、支部長の諮問に答えます。

令和4年度は、令和4年6月1日(水)、令和5年2月1日(水)の2回開催され、香川県支部、高松赤十字病院、香川県赤十字血液センターの令和3年度事業報告、決算、令和5年度事業計画、予算等が承認されました。

◎日本赤十字社香川県支部役員名簿

(令和5年3月31日現在)

職名	氏名	地区別	職名	氏名	地区別
支部長	池田 豊人		評議員	福岡由紀子	丸亀市地区
副支部長	西原 義一		〃	高木 和弘	〃
監査委員	長嶋 正信		〃	松浦 佳子	坂出市地区
〃	蓮井 明博		〃	高畑 光宏	善通寺市地区
〃	泉川 雅俊		〃	挽田 公孝	観音寺市地区
評議員	角田 朝則	高松市地区	〃	藤井 邦子	さぬき市地区
〃	大野 敏子	〃	〃	江川 京子	東かがわ市地区
〃	中村 絹代	〃	〃	植岡 澤江	三豊市地区
〃	稲毛 和子	〃	〃	大江 正彦	小豆地区
〃	林 茂子	〃	〃	伊藤 良春	東讃地区
〃	多田 廣子	〃	〃	谷川 俊博	中讃地区
〃	宮本美枝子	〃	〃	片岡 英樹	〃
〃	森下きよ子	〃	〃	香川 亮平	支部長選出
〃	伊藤 洋子	〃	〃	久米川 啓	〃
〃	多田 安寛	〃	〃	近藤 雅樹	〃
〃	岩崎 正朔	丸亀市地区	〃	近藤 彰介	〃

※評議員任期 令和4年2月14日～令和7年2月13日



決算概要

◎令和4年度一般会計（香川県支部）歳入・歳出決算概要

科 目	決 算 額 (円)	構成比(%)	科 目	決 算 額 (円)	構成比(%)
社資収入	178,614,911	67.7	災害救護事業費	21,863,102	10.4
一般社資収入	138,563,097		救護看護師養成費	4,320,000	2.1
・会費収入	116,969,117		救急法・健康生活支援講習等講習普及費	26,804,490	12.8
・寄付金等収入	17,611,829		奉仕団活動費	2,170,494	1.0
・指定事業社資収入	3,982,151		青少年赤十字活動費	2,163,601	1.0
法人社資収入	40,051,814		地域(市町)における赤十字活動費	19,175,416	9.1
・その他社資収入	40,051,814		赤十字運動普及・会員増強費	24,246,437	11.6
委託金等収入	129,971	0.0	医療施設基盤整備交付金	11,960,000	5.7
本社からの事業交付金	4,117,768	1.6	血液事業基盤整備交付金	466,950	0.2
繰入金収入	4,047,151	1.5	国際救援活動費及び本社事業費	34,871,823	16.6
資産収入(香川県への土地貸付け等)	5,300,501	2.0	資金積立金(災害等・国際救護活動・施設整備準備積立金)	20,185,000	9.6
救急法・健康生活支援講習等講習教本代等収入	5,996,243	2.3	資産管理費	4,212,236	2.0
前年度繰越金(年度当初事業資金)	65,687,123	24.9	事業管理運営費	37,402,675	17.8
歳 入 合 計	263,893,668	100.0	歳 出 合 計	209,842,224	100.0

歳入歳出差引(翌年度当初事業資金) 54,051,444円

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人 道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公 平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中 立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独 立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉 仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単 一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。



 **日本赤十字社 香川県支部**
Japanese Red Cross Society

〒760-0017 香川県高松市番町一丁目10番35号
香川県社会福祉総合センター内
TEL 087-861-4618 FAX 087-862-7010
E-mail : nisseki@kagawa.jrc.or.jp
ホームページ : <https://www.jrc.or.jp/chapter/kagawa>

日本赤十字社香川県支部

検索

